釧路 ポートガイド
Kushiro Port Guide

釧路フィッシャーマンズワーフ MOO と耐震・旅客船ターミナル

シャトルバスの運行
未定

帰船時間（自由行動の方々）
未定

観光情報は、こちら！
釧路観光コンベンション協会
電話0154-31-1993
URL：http://www.kushiro-kankou.or.jp

船舶代理店
三ツ輪運輸
電話0154-54-3030

釧路港は、北海道の東部に位置し、明治32年（1899年）の開港以来、東北海道の中核港湾として整備が進められてきました。平成23年に完成した耐震・旅客船ターミナルは、市街地に隣接したクルーズ客船専用岸壁として多くのお客様をお迎えしています。

隣接する「釧路フィッシャーマンズワーフ MOO」は、旅客船ターミナル機能のほか港町ならではの新鮮な魚介類、干物、菓子、加工品等が並ぶ市場、地元食材を味わえる飲食店や炭火焼きで豪快に堪能できる「岸壁炉ばた」などが連なる個性豊かな総合観光複合施設で、たくさんの観光客が訪れています。

気候は夏が涼しくて過ごしやすいのが特徴です。釧路市の7、8月の日中最高気温は22℃前後で、その涼しさにより街全体が快適空間となっています。このさわやかさを求め長期滞在者が増えています。北海道内での長期滞在者実績は、今年の上半期を含めると3年連続第1位となっております。

こうした環境の中、乗船客の皆様にはゆっくりと釧路の自然、食、温泉等を楽しんでいただけます。中でも釧路市周辺は「釧路湿原国立公園」「阿寒国立公園」「厚岸道立自然公園」などの貴重かつ雄大な自然が広がっており、特別天然記念物のタンチョウや阿寒湖のマリモなど、希少な動植物が生息する自然の宝庫です。

釧路湿原をのんびりと眺められる観光列車「ノロッコ号」をはじめ、湿原を蛇行する釧路川をゆったりと下るカヌー、ホーストレッキングやウォーキングなど、自然を身近に体験することもできます。

また、釧路市から東は切り立った海岸線が続きます。厚岸町ではアザラシ・ウォッチングや新鮮な牡蠣をお楽しみいただけます。

雄大な大地と太平洋では豊かな食材が育まれており、釧路発祥といわれる鶏の唐揚げ「ザンギ」や炉端焼き、市内に30店舗ほどある蕎麦、新鮮なサンマの刺身など釧路の食を堪能することができます。

❶ 石川啄木歌碑めぐり

明治41年、石川啄木は釧路新聞記者として釧路駅に降り立ち、その2か月半後、今度は船で釧路を後にしました。

わずか76日間の在釧期間中、啄木は記者として、歌人として多忙な毎日を送りました。記事を書く。取材に出る。頼まれて講演をする。夜には同僚と料亭へ繰り出す。歌作りに精を出す。そして芸妓・小奴とのロマンスも。現在、釧路市内には27基の歌碑等がありますが、うち25基が啄木ゆかりの米町界隈と南大通周辺を中心に点在し、約2時間30分の歌碑めぐりコースとなっています。

❷ 釧路和商市場／くしろ丹頂市場

和商市場は、JR釧路駅のそばにある、釧路最大の鮮魚市場。四季折々の旬の魚がところ狭しと店頭に並べられた様子はまさに圧巻。お好みの刺身や魚卵をのせて、自分だけのオリジナル丼を作る「勝手丼」は大変な人気です。

くしろ丹頂市場は和商市場に隣接し、野菜や青果、鮮魚を売る専門店が並び、早朝から活気にあふれています。旬の野菜や山菜などは、市内のどこの売り場よりも早く店頭に並ぶとか。両市場は、船が着岸する耐震・旅客船ターミナルから歩いて15分程度のところです。

❸ 釧路湿原国立公園

釧路湿原国立公園は、2万8,000haに及ぶ面積を有する日本最大の湿原として、昭和62年に誕生しました。この豊かな公園に分布する動植物は約2,000種に上り、特別天然記念物タンチョウなど貴重な生命が育まれています。釧路市湿原展望台をはじめとする見晴台が湿原を取り囲むように設けられ、雄大な景色を堪能することができます。

また、釧路川沿いに時速20kmほどでゆっくりと進む「釧路湿原ノロッコ号」、川のせせらぎを聴きながら動物の目線で眺めるカヌー体験、木道散策（500m～6km）など豊富なメニューをお楽しみいただけます。

❹ 釧路市動物園

釧路市動物園は、「タンチョウ保護増殖センター」を含めると国内最大級の敷地面積を有し、シマフクロウ、オオワシ、オジロワシ、タンチョウ、ヒグマなど、北海道の動物たちに会うことができます。湿原に設けられた木道を歩けば、野鳥の声などを聞けるかもしれません。

また、近くの山花温泉「リフレ」では薬膳料理を味わえるほか、ホースパーク、オートキャンプ場などがあり、動物園と一緒に楽しむことができます。

❺ 釧路市丹頂鶴自然公園

一時は絶滅したと思われたタンチョウが釧路湿原で発見され、国の天然記念物に指定されるとともに、地元の人の手厚い保護が始まりました。この施設はタンチョウの保護増殖を目的として官民挙げて建設に取り組み、1958年に誕生しました。現在の施設は改修されたもので、約20羽のタンチョウが生息しています。

園長（現在は名誉園長）が、飼育、人工ふ化に必死で取り組む姿は、NHK特集「鶴になった男～釧路湿原・タンチョウふれ

足を延ばして

❻ 阿寒国立公園

戦前に指定された12国立公園の一つとして道内では大雪山とともに昭和9年に国立公園に指定。阿寒、屈斜路、摩周のカルデラ地形を基盤とし、火山と森と湖が織りなす豊かな原始的景観を有する公園です。わが国最大のカルデラ湖である屈斜路湖、世界有数の透明度を誇る摩周湖、特別天然記念物のマリモが生息する阿寒湖など見どころいっぱいです。

❼ 厚岸道立自然公園

厚岸道立自然公園は、釧路町昆布森から厚岸を経て霧多布岬にかけての海岸と、後背の湿原地帯含む約2万1,000haが昭和30年に道立公園として指定されました。

海霧が多発する冷涼な気候のため、高山植物が海岸や湿原で見られ、タンチョウをはじめオジロワシやエトピリカといった希少な鳥類が生息しています。

港までの所要時間

「釧路駅」より	■ JR［釧路駅」より徒歩15分
たんちょう釧路空港より	■ タクシーで約45分 ■ 釧路空港より「釧路フィッシャーマンズワーフ」行きの空港バスも運行。 （所要時間／約55分、料金910円）

※バス運行会社問い合わせ先：電話0154-37-2221／阿寒バス株式会社

釧路 おすすめグルメガイド

Gourmet Guide

豊富な海産物や野菜など様々な食材にあふれる街、釧路。新鮮な魚介類をシンプルに焼いて食べる「炉端」は、釧路が発祥といわれています。ザンギ、鉄板スパゲッティ等のご当地グルメや最近話題のシカ肉など、釧路は美味しい料理にあふれてます。

ザンギ

今や釧路のご当地グルメとして広く知られるようになった「ザンギ」ですが、今から約 50 年前に市内の鶏肉専門店から誕生したといわれています。以来「ザンギ」は釧路を代表する食文化として市内の飲食店はもとより、一般家庭でも愛されるソウルフードとして地域に根づくことになりました。

蕎麦

釧路には、ほかの都市に類を見ないほど多くの蕎麦屋があります。緑細麺が特徴的で、老舗「東屋」伝統の蕎麦作りの影響を受けているようです。他にも江戸流の定番蕎麦から創作蕎麦料理、地場の特産品を使った蕎麦、手打ち蕎麦など様々な品を提供する店があり、好みで選べるのも楽しみです。

鉄板スパゲッティ

アツアツの鉄板の上に豪快に乗ったスパゲッティとカツ。他では食べることができない、釧路ならではのソウルフードの一つです。一度食べるとクセになる美味しさに、誰もが魅了されることでしょう。スパカツは、ザンギとともにご当地バーガーとして全国で売り出され、好評を博しました。